

相場1万円超えのお宝が
タダ同然でザクザク仕入れられる
驚きの場所があります



著者

情報商材コレクター

だいぼん

<http://semiretire.sblo.jp/>

著作権について

「相場数千円～数万円のお宝がタダ同然の価格でザクザク仕入れられる驚きの場所！」
PDF版（以下、本教材と表記）は、著作権法で保護されている著作物です。本レポートの使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

- 本教材の著作権は だいぼん にあります。
- お名前の書面による事前許可無く、本教材の一部または全部をあらゆるデータ蓄積手段（印刷物、電子ファイルなど）により、複製、流用および転売（オークション含む）することを禁じます。

使用許諾契約書

本契約は、本レポートを購読した個人・法人（以下、甲と称す）と だいぼん（以下、乙と称す）との間で合意した契約です。本レポートを甲が受け取り、パッケージを開封又は購読することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的

乙が著作権を有する本レポートに含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項

本レポートに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本レポートから得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本レポートに含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 契約の解除

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第4条 責任の範囲

本レポートの情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

目次

1.はじめに

2.古本転売について

3.驚きの仕入先

4.究極の仕入先

5.おわりに

【はじめに】

この度は無料レポートをダウンロードしていただき、ありがとうございます。
著者の だいぼん と申します。



【著者略歴】

山陰に住む大学生。

コツコツとバイトで溜めた学費を親にパチンコで使い込まれ休学中。

働き、飯を食い、眠るだけの家畜と同じ日々を過ごす日本の労働者たちの姿を見て、会社の雇用下で行われる労働というものに激しい恐怖を抱き、就職活動を放棄する。

2008年11月頃より、自分ひとりの力で食べていく方法を模索しはじめ、どうにかネットビジネスで月20-30万程度の収入を確保することに成功する。

一日の労働は平均して2時間程度である。

現在、さらに収入を拡大するために勉強中。

趣味は読書と情報商材の収集である。

そのうち大学にも戻る気である。

【古本転売について】

あなたは **せどり** というビジネスを知っていますか？

ブックオフなどで売られている古本・古雑誌などを買い、それをヤフオクやアマゾンマーケットプレイスなどで高値で売り捌き、利鞘をとる行為です。

以前は専門の古本屋さんといった深い知識のある人しか行えませんでした。簡単に商品相場を調べられる携帯ツールの登場により、主婦や学生といった一般の方々も気軽に参入できるようになりました。

私も数ヶ月前から取り組み始め、少ない労力で一定の利益をあげています。

というわけで、今回扱うお宝とは古本のことになります。

ただし、その辺にゴロゴロ転がっているようなただの古本ではありませんよ。

普通、せどりをする人はブックオフのようなチェーン店に行きます。

ブックオフは本の売価を、定価、発行年度、本の状態、在庫期間で決定します。

そのため、アマゾンマーケットプレイスやヤフオクで高値で取引されている貴重な本が、単なる古本として105円コーナーに転がっていたりします。

また、最近の本でも、たまたま数ヶ月売れずに残っていると、105円コーナーに回されることになります。

こうした本は意外に多く、根気よく調べれば一店舗で何十冊も仕入れることができます。

しかし、いくらブックオフといえど、5000円を越える利鞘をとれる本は稀であり、ましてや10000円を越えるものとなると、滅多にお目にかかれるものではありません。

ですから、たまにそんなお宝本を見つけると、とても得をした気分になります。

しかし、世の中には、そうした5000円越え、10000円越えの本が無数に眠っている場所があるのです。

【驚きの仕入先】

それは日本中に存在しますし、皆さんも一度は必ず利用したことがあると思います。

ずばり、**図書館**です。

は？ と思う方もいるかもしれません。

そもそも図書館は本を買うところではありませんからね。

もちろん、図書館の本棚に陳列されている書籍をこっそり抜き取ってきて売りさばくわけではありませんよ。

そんなことしたら前科がついちゃいますから。

ではどうやって図書館から書籍を仕入れるのか。

その仕組みをこれから説明します。

書籍というものは毎年数万点という膨大な量が出版社から新たに発行されます。

図書館はその中から価値あるもの、需要のあるものを選んで定期的に入荷しなければなりません。

しかし、図書館の書庫は四次元ポケットではありません。

入荷を続ければ、いつかは必ず飽和に達します。

そうすると新たな書籍を入荷できなくなり、図書館は困ってしまうわけです。

また、改版・重複などで不要になる書籍も現れます。

こうしたとき、図書館は不要になった本を大量に処分するため、一般客に向けて大々的に不要本の格安セールを行うことがあります。

このときを我々は狙うのです。

基本的に古い本ばかりですが、中には絶版本や貴重な本も多く含まれており、相場を調べると思わぬ高値がついている場合が多々あります。

しかも、どうせセールが終われば廃棄してしまう書籍ですから、その価格はたいへん安く設定されており、分厚い辞典類なども大抵は100円200円で仕入れられています。

また、図書館によっては文字通りタダで不要本を配布しているところもあり、一般客が自由に持ち帰ることができます。

タダで商品を仕入れられるなんて素晴らしいですね。

図書館放出本というのは蔵書印が押してあることが多く、相場よりかなり安く値段設定しなければ売れないのがネックですが、それでも利益は十分に出ます。

加えて、他のせどらー(せどりをする人)たちも図書館のセールのことをあまり知る機会がないらしく、ブックオフのセールの日などと比べると、圧倒的に競合者が少ない状態で仕入れることができます。

こうしたチャンスを利用しない手はありません。

【究極の仕入先】

さて、先ほど図書館を有力な仕入先としてご紹介しました。

しかし、中でも特においしい図書館、セールの際に数千円～数万円の高額書籍がザクザク仕入れられる夢のような図書館があります。

しかも、それは東京や大阪などいった一部のエリアだけではなく、北海道から沖縄に至るまで、全国的に存在します。

それは[大学図書館](#)です。

普通の図書館だろうが大学図書館だろうが、新たな書籍を定期的に入荷し続けなければならないということに変わりはないわけで、いつかは不要になった書籍を処分する必要がでてきます。

そして、近年では一般客に向けて大々的にセールを行う大学図書館も増えてきています(試しに「図書館 セール」で検索をかけてみればお分かりになります)。

ここで少し考えてみてください。

大学図書館の蔵書にはどのようなものがありますか？

法学書、経済学書、医学書、工学書、歴史学書、数学書、文学書、美術書……。

そう、大学図書館は極めて専門性の高い学術書の宝庫なのです。

そしてセールの際には、そうした学術書のうち、とっくに入手不可能になった絶版古書が、数千冊単位で放出されることとなります。

『入手困難で、極めて専門性の高い学術書——』

せどりをやっているひとなら、すぐにその価値がわかると思います。

もしかするともうすでに涎を垂らしているかもしれませんね。

専門性の高い書籍というのは、市場に多く出回っている小説や流行本と比較して、高値がつきやすい傾向にあります。

大学図書館のセールでは、そうした書籍が100円程度でいくらかでも仕入れることができるのです。

経年ヤケ？ 蔵書印？

全然OKです。

基本的にこうした書籍を求める人は、商品の質はあまり気にしません。

とにかく記述してある内容が重要なのであって、多少のヤケや蔵書印の有無など微々たる問題でしかないのです。

実際、私が最初に大学図書館のセールで仕入れた書籍は、すべて函、カバーなしの裸本であり、地と見開きに蔵書印が押してあるという悲しい状態でしたが、それから3ヶ月も経っていないにもかかわらず、20000円越えの怪物が一冊(仏教書でした)、10000円越えの大物が三冊、5000円越えが三冊と、素晴らしい売り上げを記録しています。

それらはすべて100円で仕入れたものです。

アマゾンのランクをあまり気にせずに仕入れたので、いくらかは売れ残ってしまうでしょうが、正直屁でもありません。

その日の仕入れには5000円も使っていないのですからね。

ですから、大学図書館のセールに行かれた際は、ランクを気にするよりも、極力大物狙いで行った方が良いと思います。

こうした古書の場合、長らく売り手がいなかったり、法外な俺様価格(4万とか……)のせいで買い手がつかなくなったりで、需要があるにも関わらずランクが下がっているケースがありますので。

ランク外のものもちょくちょく売れています。

普通の図書館でも大学図書館でも、セールの日は大体ホームページで告知されます。

こんなに美味しい仕入先なので、是非定期的にチェックするようにしましょう。

遠出してでも行く価値はありますよ。

【おわりに】

私は現在いくつかの方法で収入を得ていますが、その中心はせどりです。

アフィリエイトや投資にも手を出していますが、やはり手軽さ、成果の出やすさといった点で、せどりには敵いません。

片手間ではじめたにも関わらず、三ヶ月目には純利益が15万円を越えてしまいました。

本腰をいれてやればさらに増やせると思います。

個人的に本が好きで、価値ある書籍が廃棄されると聞くと身を引き裂かれる思いがします。

貴方も是非図書館に赴き、廃棄予定の価値ある書籍を救ってあげて欲しいと思います^^

最後に、私がお勧めするせどり関連の商材、ツールを記しておきます。

せどりをやってみたい人は是非入手してください。

元なんて簡単に取れますので。

この度はご購入ありがとうございました。

【おすすめ商材・ツール】

『最強の「せどり」ノウハウ』

<http://infospeed.org/sedori.html>

せどりを始めるにあたってはこれ一つ読んでおけば十分です。
必要な知識はすべて網羅されています。価格も情報商材としては激安。
私のブログにレビューもありますので参考にしてみてください^^

<http://semiretire.sblo.jp/article/27303754.html>

『マーケットプレイス 携帯サーチ』

http://www.sedori.net/amp_search/

せどりには必須の万能ツール。
本、CD、DVD、ゲームなどの相場を調べることができます。
まずはお試し版から。

『パッと見！ オークション検索』

<http://auctionavi.net/pc/index.html>

書籍だけならこちらの携帯版もオススメ。
キーワード検索対応。無料。
ヤフオク・楽天オクでの出品価格も調べられます。
動作も有料のものより軽いです。

※基本的に図書館仕入れの際のツールはキーワード検索できるものが必須となります。
古書にISBN番号などふってありませんので。

<PR>

私ことだいぼんは、現在、

「**情報商材コレクターの反撃 ～アフィリとせどりで悠々自適～**」

というメルマガを発行しております。

現代日本では、労働のために犠牲にせざるを得ないものが余りにも多すぎると
思いませんか。

このメルマガでは、会社の支配に身を委ねずとも生活していけるレベルの収入
を得るためにはどうしたら良いか、だいぼんが知る限りの情報、経験をどんどん
公開していきます。

また、市場に出回っている情報商材のレビューも逐次行っていきます(現在数十
本所有しております。すでにいくつかの情報から収入もあがりはじめています)。
役に立つ情報やツールがあれば紹介していきますので、興味のある方はぜひご
購読ください。

ブログのサイドバーより登録可能です。

作者：だいぼん

メールマガジン名：

「**情報商材コレクターの反撃 ～アフィリとせどりで悠々自適～**」

ブログ名：

「**情報商材コレクターの憂鬱**」

ブログ URL：

<http://semiretire.sblo.jp/>

お問い合わせ：

daipon01@gmail.com